学校番号	3032B

令和８年度　専情報

教科	専情報	科目	(学)プログラミングＢ	単位数	１単位	年次	２，３年次 後期
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

有用なプログラムと情報システムの開発に必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

2　学習の到達目標

- 計算の手続きを自分である程度自由にPythonのプログラムとして表現できるようになることを目指す

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プログラミングの各分野に関する基礎的･基本的な知識を身に付け，現代社会におけるプログラミングの意義や役割を理解している。プログラミングに関する基礎的･基本的な技術を身に付け，情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に活用している。	プログラミングの各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的･基本的な知識と技術を基に，プログラミングを適切に判断し，表現する創造的な能力を身に付けている。	プログラミングに関する諸課題について関心を持ち，その改善･向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	データ構造・探索・整列	基本的なデータ構造 リストと木構造 スタックとキュー 探索とは 線形探索 二分探索 整列とは 交換法 選択法 挿入法	a: 探索の意味や種類について説明できるか。整列の意味や種類について説明できるか。等 b:配列と構造体を組み合わせて，リストや２分木のプログラムを作成できるか。配列とユーザ定義型を組み合わせて，リストや２分木のプログラムを作成できるか。等 c:プログラム作成に積極的に取り組んでいるか。	学習状況の観察 ワークシート 実習	学習状況の観察 ワークシート 実習	学習状況の観察 ワークシート 実習

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度